

2019年度 和歌山市立川永小学校 スクールプラン(学校運営計画書)

校長名 裕間 正子 作成日 2019年4月10日

和歌山市学校教育指針

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子供の安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 確かな学力を身に付けさせてほしい
- 子供が主役になれる学校にしてほしい
- 思いやりのある子供に育てほしい
- 地域とのつながりをもってほしい

【学校教育目標】

豊かな心と学ぶ意欲をもち、主体的にたくましく生きる子供を育てる

【めざす児童（生徒）像】

- ・学習や仕事に進んで取り組み、粘り強くやりぬく子供
- ・思いやりの心をもち、社会性を身に付けた子供
- ・心身ともに健康な子供
- ・地域や学校に誇りをもつ子供

前年度の学校評価

- 確かな学力が身につけてきている
- 地域との連携は、地域の未来を築くという視点からもうまいのでこれからも継続してほしい
- 学校が楽しいと感じる児童が95%を示しているのでこのような学校環境が継続することを望む

児童（生徒）の実態

- あいさつができる
- 素直で真面目に行動できる
- 考えを書いたり、根拠をもって発言したり、物事を論理的に考えたりする力が弱い

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎基本の確かな定着
- ◎子供主体の授業づくり
- ◎家庭学習の定着
- ◎読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- ◎高学年をリーダーとしたチーム学校づくり

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的な生活習慣の確立
- ◎安全教育の充実

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- 幼保小の接続、中学校区における学校間連携の推進
- 地域の人材及び資源の活用

具体的な取組

- 自分の考えを書き、そのことを根拠に発言できる授業を行う
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底させた授業を行う
- 一人一校内研究授業や研修会への参加等を通して授業改善を図り、教師一人一人の授業力を向上させる
- 保護者と協力しながら家庭学習の定着を図る
- 一人読書、読み聞かせ、親子読書を推進する

- 道徳の教科書、「心のとびら」を活用し、「特別の教科道徳」の充実を図る
- いじめアンケートを年に数回実施し、いじめの未然防止に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について保護者とともに学ぶ機会をもつ
- 児童会活動の充実を図り、子供が考え、実行する取組を行う機会を増やす

- 月・木はミニバスケットボール、火・金は陸上の朝練を行い、希望者が参加することを通して体力づくりを行う
- 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する
- 交通安全教室や避難訓練を計画的に実施し、危機対応能力を養う

- 学校便り、学級便り、保健便り等を通して学校の情報を定期的に発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する
- 地域の方々との交流を通して、人々の生き方について学ぶ
- 幼保小の接続及び中学校区での連携を推進する
- 授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア等において地域の人材や資源を活用する

指標

- ・県学習到達度調査で基本問題の正答率が県平均を上回る
- ・わかる授業を実践した(児童・教師90%)

- ・学校が楽しいと感じる(児童92%)
- ・いじめの解消率100%
- ・情報モラル授業、年3回以上実施

- ・朝ごはんを食べた(児童100%)
- ・市主催のバスケットボール、陸上大会に参加した

- ・学校の教育活動や子供の様子がよく伝わった(保護者85%)
- ・中学校区で接続・連携した取組を実践できた(教師85%)
- ・学期に1回以上地域の人材を活用した

◎：特に重点的に取り組むこと